



◆地域学校協働活動◆

2026年9月11日 第24号

「コミュニティスクール」と「岩中地域学校協働」

地域社会を教室に！ 夏祭りボランティアの実践と成果

今年の夏休み、岩倉市の各町内から夏祭りへの「参画」募集がありました。

岩中生のみなさんには、右図のようなポスターを提示しました。

6名の生徒が「参画」しました。

裏方・準備・接客・運営等様々な場面
その中で、小さな子、地域の大人との
状況に応じたコミュニケーションから
人との関わり方が上手になったという
感想がありました。

地域貢献と自己肯定感の好循環の構築
そして中学生としての「これから」を
見つめられるととても有意義な機会。

地域が子どもを育て、子どもたちが
地域を気づける。
地域学校協働の一場面



8月1日 西市区 夏祭りボランティア 活動報告

笑顔をつくり、地域に学ぶ。生徒たちの「気づき」と「成長」の記録

活動内容



準備・裏方

- ・椅子の設置、長机の運搬
- ・お菓子・ジュース・ビンゴカードの袋詰め
- ・射的の玉セット (初めての作業)



運営・接客

- ・受付業務
- ・ミニゲームのテストプレイ
- ・スマートボールのお手伝い



「いつも楽しませてもらっている祭りは、たくさんの方々のおかげで成り立っているんだと気づいた。」

交流と気づき



子どもたちとの関わり

- ・楽しそうな笑顔を見て、自分も楽しい気持ちに。
- ・「ありがとう」「楽しい」の言葉で、大きなやりがいと地域貢献を実感。



地域の方々 (大人) との関わり

- ・射的の玉セットなど慣れない作業も、周りの大人のあたたかいフォローで最後までやりきれた。
- ・こまめな休憩や細やかな指導により、「ボランティアのしやすさ」と地域のあたたかさを体感。

成長と今後の目標

主体的な社会参加への意欲

今回学んだコミュニケーションを学校生活に生かしたい。今後も率先してボランティアに参加し、地域の人や子どもたちの役に立ちたいという芽生え。

視野の広がりや協調性

ただ作業をこなすだけでなく、周りを見て行動する大切さを実感。

コミュニケーション能力の向上

大人には丁寧な言葉遣い、小さい子には笑顔で目線を合わせるなど、相手に合わせた関わり方を習得。

「普段の日常生活ではあまり経験できないことをすることができて、すごく楽しかったし、良い経験となった。」

